

2027 年度（令和 9）年度
地域経営学部 総合型選抜説明資料

2026 年 7 月
地域経営学部入試委員会

はじめに

長野大学が実施する入学試験の種類には、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜（前期・公立大学中期）、帰国生徒入試、社会人入試、私費外国人留学生入試などがあります。それぞれの入試の内容については「入学者選抜要項」に詳しく説明が載っていますので、そちらを事前によく読んでおいてください。

■入試全般にかかわることについて

地域経営学部のアドミッションポリシー

本学地域経営学部の入試に臨んでいただくにあたっては、まず地域経営学部が掲げているアドミッションポリシーを理解していただき、そのポリシーへの適合性を各入試において示していただくことが重要になります。大学では、アドミッションポリシーに適合する志願者を入試において選抜し、入学者を受け入れています。アドミッションポリシーは、大学や学部が求める学生像を示したものになります。「入学者選抜要項」の 2 ページに地域経営学部のアドミッションポリシーが載っていますので、しっかり読んで理解しておいてください。なお、総合型選抜は四つのアドミッションポリシーのうち AP3および AP4を特に重視する入試区分です。

また、長野大学ならびに地域経営学部の特色や、どのようなことが学べるかという基本的な情報も大学のパンフレットやホームページで事前に十分に調べ、理解しておいてください。

■総合型選抜

1. 総合型選抜の概要

（1）総合型選抜とは

総合型選抜とは、学力試験などの入試とは別に、大学や学部のアドミッションポリシーに適合する志願者を、独自の選考方法で選抜する入試のことです。地域経営学部の総合型選抜は専願です。

（2）総合型選抜の定員

地域経営学部の総合型選抜の募集定員は 24 名です。募集定員には、地域特別枠（定住）8 名が含まれています。試験日程・試験会場・地域特別枠（定住）に該当するかどうかは、「入学者選抜要項」や「学生募集要項」で確認してください。

（3）選抜方法

総合型選抜は 1 次選考と 2 次選考の 2 段階選抜方式で実施します。

1 次選考は小論文試験（90 点満点）であり、その小論文試験の評価点をもとに行います。1 次選考において「学習・活動計画書」自体に評価点はつけません。しかしながら、「学習・活動計画書」の内容は、2 次選考における合否判定を大きく左右しますので十分な時間をかけて作成してください。詳細は下記「2. 学習・活動計画書」を確認してください。

2次選考では、1次選考の合格者に対して、提出書類の「学習・活動計画書」に基づいて面接試験（150点満点）を行います。面接時間は30分です。面接についての詳細は下記「3. 面接試験について」を確認してください。

2次選考受験者に対して、1次選考（90点満点）と2次選考（150点満点）の得点を合計した240点満点で得られた得点をもとに選抜を行います。

（4）入学前学習

総合型選抜は合格発表で終わるものではありません。合格者には入学前学習が課されます。その入学前学習の成果として、それぞれ自分で選んだテーマに基づき研究や調査を行っていただき課題レポートを提出していただきます。「合格後に入学前学習に取り組む」ところが、他の入試方式と違う総合型選抜のユニークな特徴です。詳細は下記「4. 合格後の入学前学習について」を確認してください。

2. 学習・活動計画書について

（1）総合型選抜における学習・活動計画書の重要性

学習・活動計画書は、他の入試区分にはない総合型選抜独自のものです。面接試験ではこの計画書の内容に基づいてプレゼンテーションを行っていただくとともに、面接者も主に計画書の内容に対して質問しますので、この出来ばえが総合型選抜での合否を大きく左右します。当然のことながら、誰かに代筆してもらったり、ネット等から書き写したりせずに、本人が自分の言葉で書かなくてはなりません。記入する際には、まず下書きを作り、十分に推敲（すいこう）してから清書してください。

（2）用紙の入手方法

学習・活動計画書の用紙は、大学のホームページからダウンロードすることができます（＊参照）。記入は手書きでもワープロでもかまいません。

マス目のあるこの用紙に手書きするか、あるいはこの用紙と同じ一行字数と行数に書式設定した上で、ワードなどに打ち込んでプリントアウトしても構いません。手書きの場合には、先に別の紙で下書きしてから用紙に清書してください。

<https://www.nagano.ac.jp/admission/exam/application/9>

（3）学習・活動計画書の書き方

特に①および②については、本学 HP 等に掲載されている内容をなぞるだけでなく、地域経営学部で学びたいことを自分の言葉で表現してください。

① 志望理由（300字以内）

「志望理由」欄には、本学の地域経営学部で学びたいと考えた理由を書いてください。地域経営学部の学びの特色をあなたがどのように理解しているかを述べるとともに、その理解とあなたが学びたいこと・関心のある事柄がそれと合致していることを説明してください。さらに、地域経営学部において学びたい具体的な専門領域やテーマを挙げ、大学での学習において何を目標とするかについても記入してください。

② 関心のある学問の魅力と探究心（200 字以内）

①の志望理由で挙げた学びの目標を達成するために、地域経営学部で探究したい具体的な学問（経営学や社会学など、本学 HP 等に掲載されている学問）を挙げてください。その学問のどのような点に魅力を感じているか、また、その学問を深く学ぶことが「地域経営」を考える上でなぜ重要だと思うのかも記入してください。

③「テーマ」（15 字～30 字程度）

「テーマ」には、地域経営学部での学びを見据えて入学までに行おうとしている学習・活動の概要がわかるような簡潔な題名を表記してください。合格した場合、ここで立てるテーマに即して入学前学習に臨んでもらうことになります。以下の例を参考にしてください。

<テーマ例>

（経営イノベーションに関するもの）「地域資源を活用した産業振興と地元商店街の活性化」

「社会課題を解決する地域企業の経営戦略と商品開発」

（組織マネジメントに関するもの）「インターネットを活用した地元企業の業務改善と地域の有機的発展について」「中小企業における企業会計のDX」

（環境ツーリズムに関するもの）「里山の環境資源をいかした地域再生の取り組み」

「地域の観光資源をいかしたまちづくりの取り組み」

（地域公共政策に関するもの）「脱炭素社会を目指した地方自治体の取り組み」

「地域コミュニティ再生を目指した市民組織の取り組み」

④上記のテーマを選んだ理由（140 字以内）

テーマに関わる問題意識とそこに思い至った経緯、あるいは、そのテーマについて学習することの効果や将来につながる内容などを書いてください。

⑤上記のテーマに沿って、これまで学習したり取り組んだこと、結果や成果（200 字以内）

ここには、これまで関連して学習したことや、社会貢献した成果等を書いてください。また上記のテーマに至った自分の小・中・高校生活、地域との関わり、そこで育まれた考え方について説明していただいても構いません。

⑥12月（中間報告）までの具体的な学習・活動計画（140 字以内）

⑦1 月中の具体的な学習・活動計画（140 字以内）

⑧2月（最終報告）までの具体的な学習・活動計画と最終成果の予定（200 字以内）

③から⑤までの内容を踏まえて、研究や調査をしたいこととそのための方法、対象となる地域や環境、人物があるならその予定、などの学習構想を記述してください。さらに、合格後入学までに、いつまでにどのような学習・活動をするのかについて、おおよそのスケジュールを記入しておいてください。特に⑧では、この入学前学習期間にたどりつきたい成果について、述べてください。なお、スケジュールを立てる際には、下記の「4. 合格後の入学前学習について」の流れを踏まえて計画を立ててください。

※ 入学前学習では、何らかの文献（書籍や論文など）の全部または一部を通読することを必ず含めるものとします。入学前学習は、文献を読むことではなく実地の調査・活動などをメインとするものであっても構いませんが、その場合も調査・活動の参考になる文献を読んでもいただきます。どの文献を読むことになるかは、実際に入学前学習が開始する際に担当教員との相談で決まりますが、あらかじめ候補となる文献（著者名、書名、出版社名、出版年）を一点選び、枠内に記入してください。なお、候補文献の選択は評価の対象ではありません。

3. 面接試験について

（1）面接時間と内容

面接時間は一人30分です。面接は受験生1人ずつ行い、3人の教員が面接官として進行します。最初に提出いただいた学習・活動計画書の内容をプレゼンテーションしていただきます。学習・活動計画書の③～⑧の内容に基づき説明を行っていただきます。プレゼンテーションは10分を目安、15分を上限とし、15分経過した場合は説明途中でも打ち切ります。プレゼンテーション終了後の残り時間で志願書類・学習・活動計画書・プレゼンテーションの内容について面接官から質問を行います。

（2）プレゼンテーションの方法と面接に持ち込み可能な資料

面接に持ち込み可能な資料は以下の三種類とします。なお、①の欄外等も含め、自分だけが見られるようなメモを持ち込まないよう、ご注意ください。事前に提出した学習・活動計画書に補足したいことがある場合は、必ず②または③のどちらかの仕方面接者にも共有してください。

- ① 学習・活動計画書（事前に提出したものと同内容のものとする。）
- ② ポスター（A1サイズ以下の模造紙等、2枚以内。自作のものに限る。）
- ③ 学習・活動計画書の⑤で記載した成果に関する資料（成果を紹介した公表資料・新聞記事等）や、⑥～⑧の詳細を示した別途資料

このうち③は、コピーまたは複数プリントアウト可能な資料については、（自分で参照するもののほかに）3部用意してください。これらについては返却しませんのでご承知おきください。コピー等のしにくい現物や資料については、一部ご用意いただき、掲示したり、回覧したりしながら説明してください。これらについては、お持ち帰りください。また、②・③については、プレゼンテーションの時間内に面接官が容易に理解できるものに限ります。面接終了後に資料を再度閲覧して採点を行うことはありません。

（3）プレゼンテーションと質疑応答のポイント

プレゼンテーションは、提出いただいた入学前学習のテーマや計画がアドミッションポリシーと適合しているかや、これまでの成果等を踏まえた具体的な計画となっているか、最終報告までに報告書を完成させることのできる具体的な見込みがあるかどうかを中心に話してください。したがって、これらの点について、学習・活動計画書には書ききれなかった内容も含めてかまいませんので、具体的に説明するようにしてください。なお、学習・活動計画書以外の補足資料（模造紙やその他資料など）は、面接官が志願者の学習・活動計画を限られた時間でよりよく理解できるようにするために補助として位置づけているものであり、補足資料の有無がそれ自体で評価に直結するわけではありません。まずは学習・活動計画書の内容を具体的にわかりやすく説明することを第一に心掛けてください。

質疑応答では、プレゼンテーションの内容だけではなく、志望理由や将来の目標ならびに志願書類に記載のある事項について面接官が質問します。学習・活動計画書を含めた志願書類を読み込み、補足が必要な点や疑問がつきそうな点などを整理したうえで、面接教員からの質問に答えられるよう準備して臨んでください。

4. 合格後の入学前学習について

(1) 合格発表後、各合格者に対して入学前学習の担当教員が割り当てられます。その担当教員と相談しながら、学習・活動計画書の③～⑧に基づいて入学前学習プログラムを行います。入学前学習プログラムは以下の手順をとって行われます。

①まず、担当教員から出願時に提出された学習・活動計画書について、レポート作成に向けた助言のコメントを送付します(合格発表後)。また、学習・活動計画書で挙げていただいた文献候補をもとにしつつ、担当教員と相談のうえで通読する文献を指定します。文献については、合格者が各自で入手していただけるようお願いいたします。

②担当教員の助言も参考にしつつレポート作成を進めていただき、「中間報告書」をご提出いただきます(2026年12月中旬)。

③「中間報告書」に対して担当教員が改めて助言を含む「コメントと励まし」をお送りしますので、その内容を受けて継続してレポート作成に取り組んでいただき、「最終報告書」をご提出いただきます(2027年2月下旬)。

④「最終報告書」に対して担当教員からの講評が届きます。これをもって入学前学習プログラムが完了となります。

(2) 入学前学習レポートを提出しなかった場合は入学許可を取り消されることもあります。入学前学習レポートは必ず提出してください。なお、入学前学習レポートが一定の水準に達していないと担当教員が判断した場合には再提出を求めることがあります。